

# 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド 毎月分配型 (円ヘッジコース)

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第222期(決算日2024年8月15日)

第223期(決算日2024年9月17日)

第224期(決算日2024年10月15日)

第225期(決算日2024年11月15日)

第226期(決算日2024年12月16日)

第227期(決算日2025年1月15日)

作成対象期間(2024年7月17日～2025年1月15日)

### 第227期末(2025年1月15日)

基準価額	4,083円
純資産総額	1,868百万円
第222期～第227期	
騰落率	△ 0.6%
分配金(税込み)合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)」は、2025年1月15日に第227期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<952532>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。社名変更後URL: www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

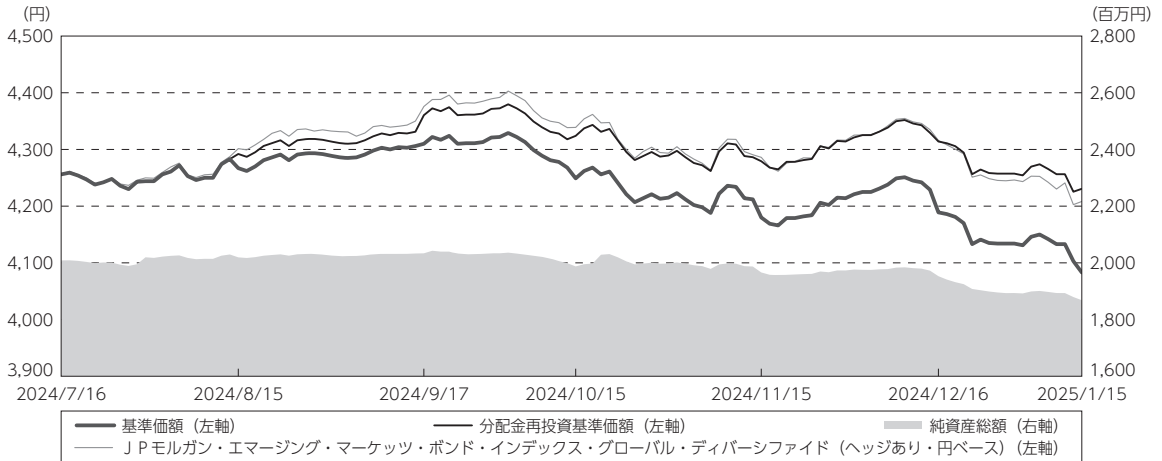
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2024年7月17日～2025年1月15日)



第222期首：4,256円

第227期末：4,083円 (既払分配金(税込み):150円)

騰落率：△ 0.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびJ Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (ヘッジあり・円ベース)は、作成期首(2024年7月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (ヘッジあり・円ベース)は当ファンドの参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・組み入れていた新興国債券から利息収入を得たこと。
- ・新興国債券のスプレッド(利回り格差)が縮小したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・米国国債利回りが上昇(債券価格は下落)したこと。
- ・為替ヘッジコストがかかったこと。

## 1万口当たりの費用明細

（2024年7月17日～2025年1月15日）

項 目	第222期～第227期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	37	0.882	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.480)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(16)	(0.386)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	37	0.884	
作成期間の平均基準価額は、4,237円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

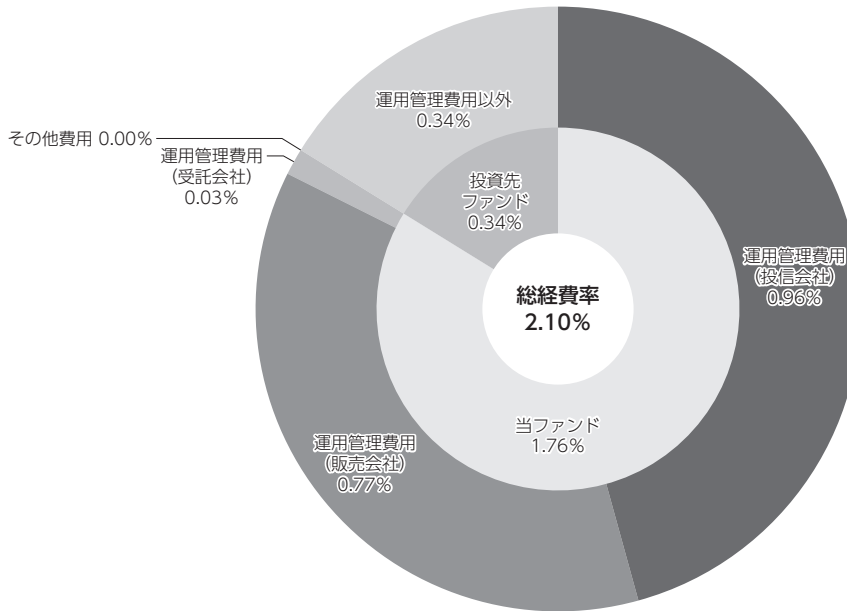
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.10%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.10
①当ファンドの費用の比率	1.76
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.34

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

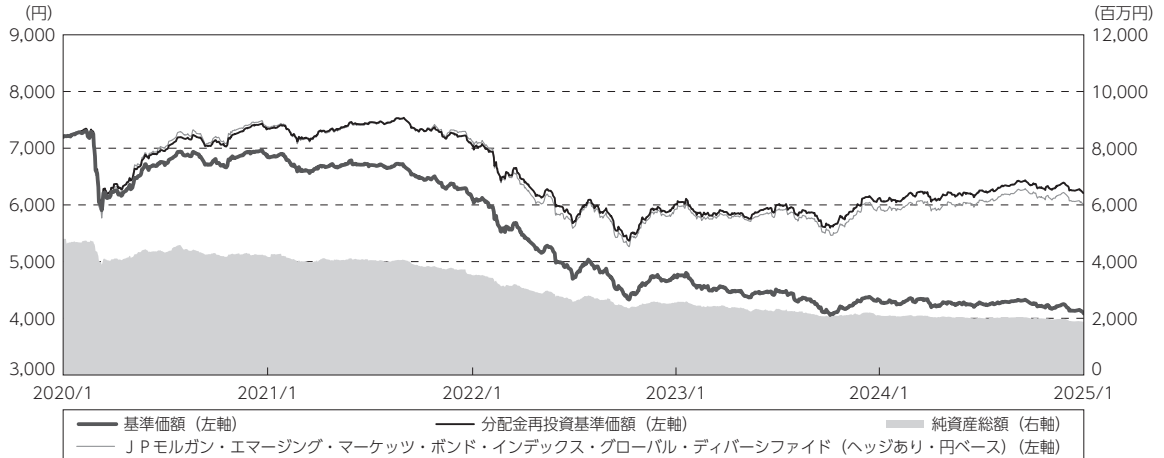
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年1月15日～2025年1月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびJPMorgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド(ヘッジあり・円ベース)は、2020年1月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年1月15日 決算日	2021年1月15日 決算日	2022年1月17日 決算日	2023年1月16日 決算日	2024年1月15日 決算日	2025年1月15日 決算日
基準価額 (円)	7,197	6,842	6,095	4,728	4,316	4,083
期間分配金合計(税込み) (円)	—	480	480	480	480	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.1	△ 4.2	△ 14.6	1.8	1.5
JPMorgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (ヘッジあり・円ベース)騰落率 (%)	—	2.5	△ 3.6	△ 16.7	0.8	0.6
純資産総額 (百万円)	4,797	4,163	3,515	2,556	2,103	1,868

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) JPMorgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド(ヘッジあり・円ベース)は当ファンドの参考指数です。

参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

**投資環境**

(2024年7月17日～2025年1月15日)

**(新興国債券市況)**

新興国債券市況は期間を通じて見ると上昇しました。期間の前半は、米国の雇用統計やI S M製造業景況感指数が市場予想を下回ることが相ついだことから、米国連邦準備制度理事会 ( F R B ) による2024年9月からの利下げ開始観測が高まったことなどを背景に米国金利は低下しました。また、景気減速懸念が高まっていた中国における大規模な景気刺激策の発表などがプラス材料となりスプレッドは縮小しました。期間の後半は、米国の大統領選挙の結果、トランプ氏が勝利したことを受けインフレ懸念が拡大したことや、堅調な米国経済指標を背景に利下げペースの減速が織り込まれたことなどを背景に米国金利は上昇しました。また、米国の大統領選挙の結果を受けて市場センチメントが回復したほか、中国の積極的な財政政策に対する期待などを背景にスプレッドは縮小しました。期間を通じて見ると、金利上昇はマイナス要因となったものの、利息収入に加えて、スプレッドの縮小がプラス要因となり、新興国債券市況は上昇となりました。

**(国内短期金利市況)**

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.08%近辺から、日銀が2024年7月の金融政策決定会合において政策金利を引き上げたことなどから、0.23%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券 ( T B ) 3 ヶ月物金利は、期間の初めの0.02%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.25%近辺で期間末を迎えました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2024年7月17日～2025年1月15日)

**(当ファンド)**

当ファンドは、収益性を追求するため、「 P I M C O エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (円ヘッジ) 」 受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」 受益証券への投資を抑制しました。

**( P I M C O エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (円ヘッジ) )**

新興国諸国では、先進国に比べて全体的に対GDP (国内総生産) での債務比率が低くバランスシートの安定性が保たれていることはエマージング諸国のサポート要因とみるなか、一部の国では高水準の金利負担が財政の重しとなっているものの、米国の利下げが今後の支援材料になると見込んでいました。米国の大統領選挙におけるトランプ氏の勝利に伴ない関税の大幅な引き上げが確実視されるなか、その影響を受ける国については注意が必要であるとみていました。こうした見通しの下、IMF (国際通貨基金) による支援などが期待されるコートジボワールなどを積極方針とした一方、米国との貿易摩擦などが意識される中国などを消極姿勢としました。

また、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行ないました。

**(マネー・オープン・マザーファンド)**

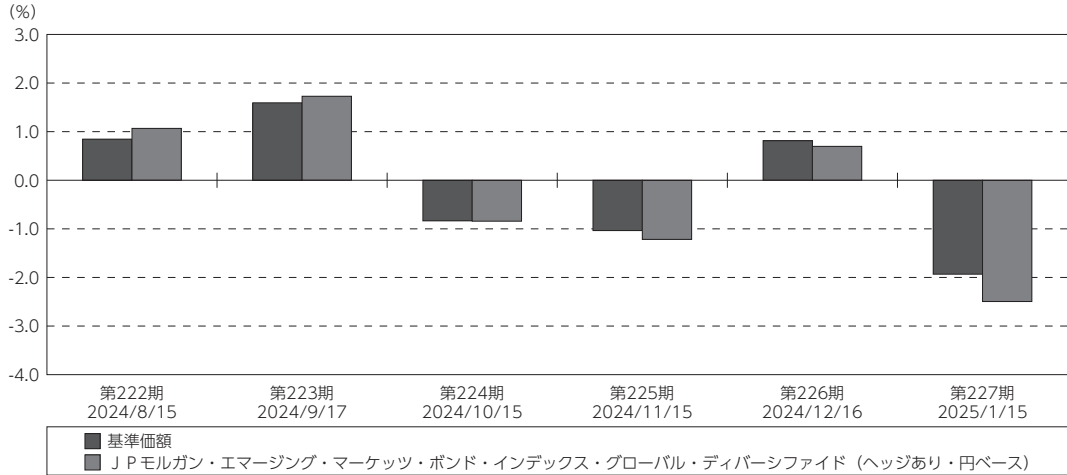
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年7月17日～2025年1月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) J P モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (ヘッジあり・円ベース) は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

(2024年7月17日～2025年1月15日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
	2024年7月17日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年9月17日	2024年9月18日～ 2024年10月15日	2024年10月16日～ 2024年11月15日	2024年11月16日～ 2024年12月16日	2024年12月17日～ 2025年1月15日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.582%	0.577%	0.585%	0.595%	0.593%	0.609%
当期の収益	14	15	10	10	14	10
当期の収益以外	10	9	14	14	10	14
翌期繰越分配対象額	1,857	1,847	1,833	1,819	1,808	1,793

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (円ヘッジ)」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

### (PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (円ヘッジ))

主要先進国においては、消費や賃金上昇率の正常化が進行していることから、インフレ率は2025年に目標水準に戻っていくと予想されます。相対的に強い成長を維持してきた米国経済については、それを支えてきた大規模な財政政策による個人資産の増加などの効果が弱まりつつあり、景気は緩やかな減速が見込まれます。先進国の主要中央銀行は、政策金利を中立的な水準に戻すことに焦点を当てており、2025年も引き続き利下げを継続するとみていますが、トランプ次期政権の実施する政策や、地政学的リスクなど不確実性は複数存在し、金融政策にも影響を与える見通しです。

先進国に比べて全体的に対GDPでの債務比率が低くバランスシートの安定性が保たれている点は、引き続きエマージング諸国のサポート要因になるとみており、米国の更なる利下げが今後も支援材料になると見込まれます。米国のトランプ次期政権による政策の不確実性がエマージング諸国へ与える影響には注意が必要であり、政策から恩恵を受ける国と、苦境に立たされる国を見極めることが重要であると考えています。

こうした見通しの下、IMFによる支援などが期待されるエクアドルなどを積極方針とします。一方、米国との貿易摩擦などが意識される中国などを消極姿勢とします。

また、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### (マネー・オープン・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## お知らせ

## 約款変更について

2024年7月17日から2025年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、運用指図権限の委託先であるピムコ ジャパン リミテッドがその所在地を変更したため、2024年10月17日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第22条）

## その他の変更について

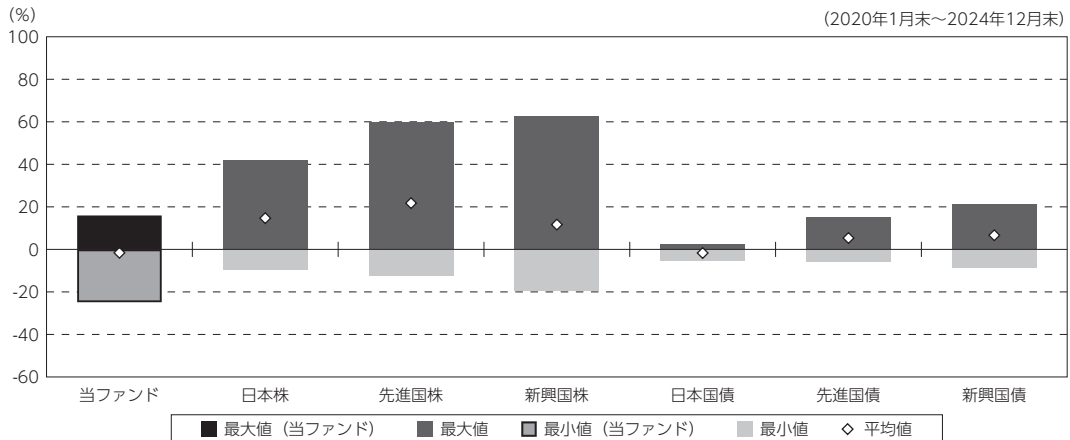
日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社へ社名変更します。また、ホームページアドレスも「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」へ変更となります。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2006年3月7日から2029年1月15日までです。
運用方針	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（円ヘッジ）」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行ないます。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは、収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.9	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 24.9	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 1.6	14.7	21.7	11.7	△ 1.7	5.3	6.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年1月から2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年1月15日現在)

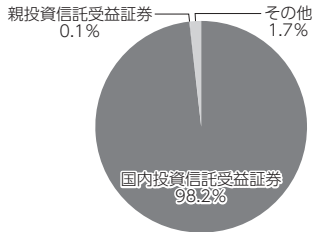
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第227期末
	%
PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（円ヘッジ）	98.2
マネー・オープン・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

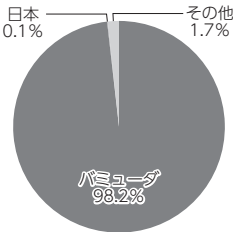
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

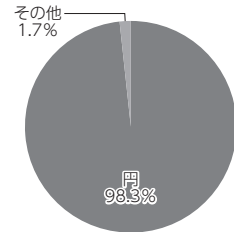
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

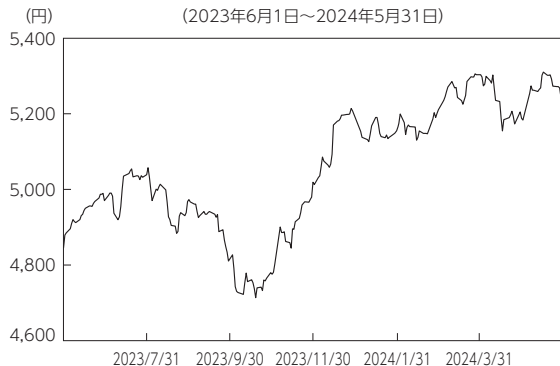
項目	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末	第227期末
	2024年8月15日	2024年9月17日	2024年10月15日	2024年11月15日	2024年12月16日	2025年1月15日
純資産総額	2,019,359,730円	2,033,601,656円	1,987,460,446円	1,966,149,089円	1,952,970,869円	1,868,223,742円
受益権総口数	4,732,070,952口	4,718,152,233口	4,677,146,965口	4,703,166,544口	4,661,726,504口	4,575,447,844口
1万口当たり基準価額	4,267円	4,310円	4,249円	4,180円	4,189円	4,083円

(注) 当作成期間（第222期～第227期）中における追加設定元本額は220,250,081円、同解約元本額は364,643,574円です。

## 組入上位ファンドの概要

## PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（円ヘッジ）

## 【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

## 【1万口当たりの費用明細】

(2023年6月1日～2024年5月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

## 【組入上位10銘柄】

(2024年5月31日現在)

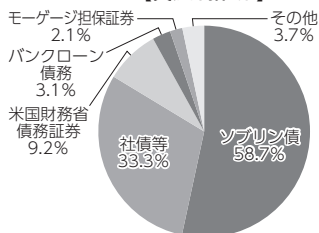
順位	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率 %
1	U.S. Treasury Notes 2.375% due 05/15/2029	米国財務省債務証券	アメリカドル	米国	2.5
2	U.S. Treasury Bonds 2.000% due 11/15/2041	米国財務省債務証券	アメリカドル	米国	2.0
3	U.S. Treasury Notes 3.125% due 08/31/2029	米国財務省債務証券	アメリカドル	米国	1.9
4	Mexico Government International Bond 3.000% due 12/03/2026	ソブリン債	メキシコペソ	メキシコ	1.5
5	South Africa Government International Bond 10.500% due 12/21/2026	ソブリン債	南アフリカランド	南アフリカ	1.4
6	Israel Government International Bond 5.000% due 10/30/2026	ソブリン債	ユーロ	イスラエル	1.3
7	Egypt Government International Bond 6.375% due 04/11/2031	ソブリン債	ユーロ	エジプト	1.2
8	Development Bank of Southern Africa Ltd. 8.600% due 10/21/2024	社債等	南アフリカランド	南アフリカ	1.1
9	Nigeria Government International Bond 6.500% due 11/28/2027	ソブリン債	アメリカドル	ナイジェリア	1.1
10	Saudi Government International Bond 2.900% due 10/22/2025	ソブリン債	アメリカドル	サウジアラビア	1.1
組入銘柄数			427銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

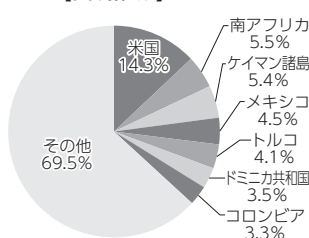
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

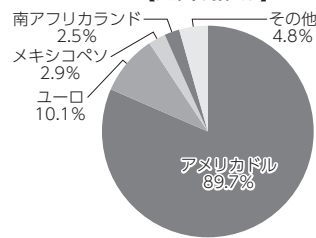
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

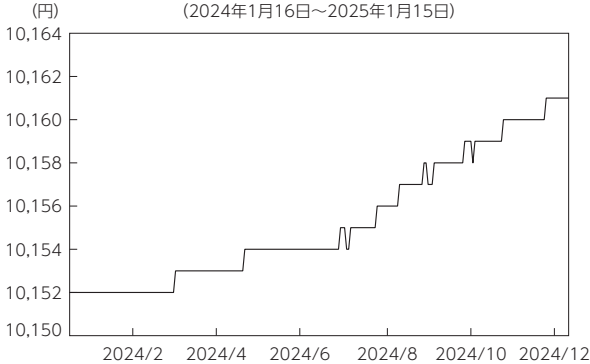
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、実質的な運用を行なっているPIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (M) の情報です。

マネー・オープン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年1月16日～2025年1月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2025年1月15日現在)

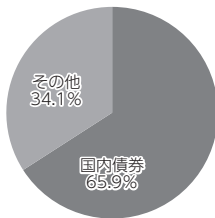
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率 %
1	第445回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	65.9
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1 銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

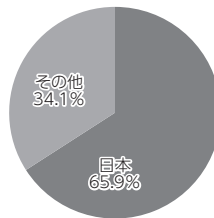
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

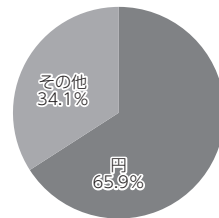
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。